

健康

質問

乳がん検診はどのような検査になりますか。どのタイミングで受ければ良いのでしょうか。

乳がん検診



乾 友浩 徳島大学病院 がん診療連携センター 特任助教

回答

乳がん検診は日本では厚生労働省が定めた指針に基づき、各自治体が実施しています。40歳以上の女性で、2年に1度、検診内容は問診とマンモグラフィ(乳房エックス線撮影)となっています。

マンモグラフィは乳房を片方ずつプラスチックの板で挟んで撮影すること、小さいしこりや石灰化を見つける乳房専用のエックス線検査です。施設によっては触診や乳腺超音波検査を実施することもあります。

自治体から案内が来て受ける検診を1次検診と呼び、1次検診でさらに詳しく調べる必要がある場合(要精密検査)には、2次検診(精密検査)を受けていただく必要があります。ただし、1次検診で要精密検査となっても必ずしも乳がんであるとは限りません。実際に乳がんであった確率(陽性反応的中率)は7・2%

問診とマンモグラフィ



がん何でもクイズ
喫煙者は非喫煙者と比べて肺がんになるリスクが、男性では何倍高いでしょうか。

①約2倍②約3倍③約4倍
行こうよ！がん検診

言われています。要精密検査となった場合は「症状がないから大丈夫」と自己判断せず、必ず精密検査を受けてください。乳がん検診は乳がんによる死亡率を減らすことを目的としています。研究によると、マンモグラフィ検診で死亡率減少効果があったのは、40歳

以上という結果があります。40歳以上が対象となります。ただし、親や子供、姉妹に乳がんにかかった人がいる場合には、乳がんの発症リスクが2倍以上になるといわれており、そのような人は40歳を待たず、20代や30代からでも乳がん検診を受診しましょう。乳房は主に乳腺と脂肪からできていて、この割



40歳以上は2年に1度

合は個人によって異なります。乳腺が多いタイプの乳房が「高濃度乳房」と呼ばれ、マンモグラフィで乳房が白く写るタイプの乳房のことです。そのような人は、マンモグラフィでは病変があっても見つけにくく、乳腺超音波検査の追加をお勧めすることがあります。また、乳がんの早期発見のために「ブレスト・アウェアネス」という乳房を意識する生活習慣が推奨されています。具体的には▽自分の乳房の大きさ、硬さ、月経周期に伴う乳房の変化を知る▽しこり、乳頭からの出血、乳頭乳輪の潰瘍、乳房のくぼみなど変化に気づいたら▽変化に気づいたらすぐに医師に相談する▽40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける▽が挙げられます。このように自身でも意識し、検診も受けることが乳がんの早期発見につながります。

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話088(634)6442
(平日午前8時半から午後5時まで)へ。